

国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学（オンライン）2024 年春季
オンラインプログラムを選択した理由、参加目的について記載してください。（100～200 字程度）	
英語能力の向上のために、スピーキング練習の機会を探しており、留学を視野に考えていました。現地留学となると、費用や1カ月程度の長期間日本での用事を一切入れられないことなど、都合がつかないことが多く、将来海外に訪れるときの練習にもなるため、オンラインのプログラムを選択しました。	
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。（200～300 字程度）	
このプログラムを通して、新しい単語やより実用的な文法、発音方法はもちろん、フィリピンの文化について知ることができました。祖父母に会ったときは、手に自分の額をつけることや、姉や兄、自分より年上の人のことを名前で呼ばないことなどです。 また、特に発音について詳しく学びました。オンラインですが、発音はかなり注意してもらえます。発音を向上させるための口の運動や、早口言葉のようなものなどがあり、プログラムを通して、発音をとても向上させることができました。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。（200～300 字程度）	
ZOOM のようなビデオ通話アプリケーションを利用するので、ネットワーク回線がつかないときは特にタイムラグが発生しました。また、先生方以外との現地の方との交流はありませんでした。 ただ、先生方から現地の文化や特徴などを知ることができました。マンツーマンレッスンもあるので、先生にこのような講義をしてほしいと気軽に伝えられ、より自分に合った講義を受けられました。例えば、もっと考える時間をとりたい、先生の考え方に触れる機会が欲しいなどのことに対応していただけました。 また、時間の自由があることは大きかったです。自宅の PC で講義を受けるため、講義後にサークルやアルバイト等の予定を入れることができました。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。（200～300 字程度）	
オンラインといっても、先生の顔や声のトーンがわかるので、自分の言っていることが伝わっているか、理解しやすい文で伝えられているかを感じとることができ、より分かりやすく話そうというモチベーションに繋がりました。また、毎日話すことで少しずつ英語で話すスピードや考えるスピードが速くなっていくので、余裕が出てきて成長を感じられました。その後は、自分の声のトーンで感情を伝えるという次の目標をたて、表情や声の高さなどで英語に感情を込めて話す練習をしました。目標を立てそれに向かって努力し、目標を達成することの繰り返しで最もモチベーションを高めてくれたと思います。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。（250～300 字程度）	
まずはパスポートを取得して、今回の留学で学んだことを実際に現地で試してみたいです。プログラム前と後の大きな変化は、海外の現地留学へのモチベーションの大きさの違いです。プログラムの前は、いつか行ってみたいという程度の気持ちでしたが、今はプログラムで向上させた英語能力を磨き続け、それを画面越しではなく実際につかいたいという思いが大きいです。また、努力を積み重ねていくことで、英語では人に頼ってもらえる、ここがすごいと思ってもらえるような人になりたいと考えています。今回のプログラムで終わりにせず、英語を学び続け、挑戦し続けていきたいと思っています。	

国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学（オンライン）2024 春季
オンラインプログラムを選択した理由、参加目的について記載してください。（100～200 字程度）	
私は国際学会に参加し、自身の研究成果を世界に向けて発信することを目標としている。そのため、英語で自分の意見を論理的に伝える力や、相手の質問を正確に理解する力を身につけるために、本プログラムへの参加を決めた。オンラインプログラムを選択した理由は、渡航型のプログラムに比べて費用を抑えられる点に加え、授業を繰り返し視聴できるため、より高い学習効果が期待できると感じたからである。	
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。（200～300 字程度）	
特に学習効果を感じたのは、英語を使う際の頭の使い方についてである。従来の学習では、英語の文章を読んだり、リスニング問題に取り組んだりといった受動的なスキルに重点を置いていたが、本プログラムでは、自ら発信する話す力、特に発音や表現の工夫が求められる場面が多くこれまでとは異なるアプローチが必要となった。例えば、会話の中で話したい内容に関する英単語が分からない場合、ただ黙り込むのではなく、知っているシンプルな語彙や言い回しを組み合わせる伝える力が必要であることを学んだ。これは、日本語ではあまり意識しないスキルであり、英語ならではの柔軟な頭の使い方を養う良い機会となった。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。（200～300 字程度）	
オンラインプログラムのメリットとして、授業を録画で繰り返し視聴できるため、聞き逃した部分を後から確認したり、復習を丁寧に行える点が挙げられる。これにより、理解の定着が深まり、学習効果が高いと感じた。一方で、デメリットとしては、インターネットの通信状況によって音声途切れたり、相手の発言が聞き取りにくくなる場面があったこと、また、現地の雰囲気や文化を実際に体感することができなかった点が挙げられる。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。（200～300 字程度）	
現地の講師との会話の中で、相手の国の文化について事前に調べた内容を話題に取り上げることで会話が盛り上がり、自然と英語への興味や学習意欲が高まった。また、毎回の授業で「今日はこのフレーズや単語を使ってみよう」といった目標を立てて臨むことで、実践的な学びと達成感が得られた。さらに、他の受講生の発言や表現から新たな言い回しを学ぶことも多く、互いに刺激を受けながら学ぶことがモチベーションの維持につながったと感じている。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。（250～300 字程度）	
本プログラム参加前は、リスニングやリーディングといった受動的なスキルの強化を目指していた。しかし、本プログラムに参加してみて、発音や抑揚を意識しながら自分の考えを伝える話す力や、限られた語彙の中で工夫して表現する柔軟な思考力の重要性に気づかされた。また、英語で即座に考えを組み立てて発言する難しさも実感し、語彙力や文法力の更なる向上の必要性を痛感した。今後は、英語で論理的にプレゼンテーションを行い、質疑応答にも自信を持って対応できるよう、より実践的なスピーキング力を磨いていきたい。将来的には本プログラムで得た経験を日々の学習を継続し、国際学会で自身の研究成果を発信したい。	

国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学（オンライン）2024 年春季
オンラインプログラムを選択した理由、参加目的について記載してください。（100～200 字程度）	
研究室の入室に際して英語に自信をつけられるよう集中して勉強する期間を作ろうと思い、大学の留学相談を利用した所オンラインを勧めて頂いたため。期間中研究室へ行くこともできるので移動日や研修費用などについても利点が多いと感じた。	
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。（200～300 字程度）	
自信をもって英語を使えるようになった。短文で簡単な語彙をつかって英語を話すことや、発音記号など、英語を英語で学ぶ経験を積むことができた。英語で日本について紹介したり、冗談を言ったりして英語で相手を笑わせることができることに驚いた。適切な表現ができなかったり、発音がうまくできなくても担任の先生が質問をしてくれたり、確認をしてくれたりすることで楽しんで英語を学ぶことができた。必修英語の授業も減り、受験期よりも英語を使う機会が減り、英語力も落ちていたが、英語に親しみ学習の遅れをとりもどし、学習意欲も向上した。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。（200～300 字程度）	
オンラインではまだ十分に英語を話す機会を設けられないと感じた。現地では他国の留学生と交流することもできるがオンラインでは他参加者と接する時間は少ない。英語を使う機会としては現地のプログラムの方が多いと思われる。しかし一方でオンラインでは自分の生活との両立がしやすい。プログラム終了後すぐに英検、IELT などの資格試験をすることもできる。また、いきなり海外に行って研修するよりもハードルが低く取り組みやすい。一日五時間ということにもハードルを感じていたが場所を変えればハードルはそれ以上のため、参加しやすいという点が利点である。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。（200～300 字程度）	
英語でいかに長く面白い話ができるかということ意識した。単語や文法も簡単なものを正確に早く伝えるように会話ができるかを考え改善した。語彙を新しく学ぶ、文法を学びなおすというよりは英語をどのように組み立てて話すか、日本語で言いたいことをどのように伝えるかということ学べた。その上で二週間目には多少の苦労があったがいかに英語を楽しく話せるか、どのように話せばわかりやすく自分の意見を伝えることができるかということ学べた。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。（250～300 字程度）	
今回のプログラムでは英語を楽しんで学ぶことができた。英語を使うことがたのしくなり、英語を使おう、聞こうという動機になった。英検などの面接でも英語でのコミュニケーションを楽しもうという余裕ができた。また自信をもって英語を話すことができるようになったため、積極的に英語を話す機会を作れるようになった。また英語を英語で学ぶ経験ができたことがとてもよかった。英語の発音を学ぶ上でネイティブが見るような発音のお手本動画などどのように英語をネイティブが学ぶのかということが理解できた。また発音改善のアプリや本、動画などの使える幅が広がった。今後の学習においても非常に役立つと実感した。	

国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学オンライン英語プログラム（3週間）
オンラインプログラムを選択した理由、参加目的について記載してください。（100～200 字程度）	
プログラムへの参加目的は、スピーキング力の向上です。また集中的に長時間英語を学ぶことでTOEICなどの試験でも結果を出せるのではないかと考えました。 渡航型ではなくオンライン型を選択した理由は、一つは費用面の問題、二つ目にアルバイト等他の活動とも両立させたかったためです。	
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。（200～300 字程度）	
今回のオンラインプログラムでは、午前中の3時間がマンツーマンレッスン、午後の2時間がグループレッスンの1日計5時間のレッスンでした。午前中のレッスンのスタートは毎回発音トレーニングから始まり、音声学的に英語をどうやって発音するのかを学びます。午後の後半では先生と特定のトピックについてたくさん話します。たくさん話し合いの練習や英語で何を言うべきかと考えることができるため、私は特にこの午前後半のレッスンがためになりました。 午後のグループレッスンは社会的な話題についてグループメンバーや先生と話し合います。 全てのレッスンを通して、自分の言いたいことをすぐに日本語から英語にすること、またリスニングの際はその逆も早くできるようになったと感じました。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。（200～300 字程度）	
オンラインプログラムを受けるメリットはいくつかあると思います。一つ目は、渡航型よりも費用が安いこと、二つ目は自分の好きな場所や自宅でリラックスして受講できること、三つ目は午前中の三時間は先生とのマンツーマンレッスンなので楽しく会話でき、いつでも質問できること、四つ目は、事前に連絡をしていればマンツーマンレッスンのみ振替授業可能なことです。実際、私も私用で参加できない日に事前に連絡し振替授業をしてももらったことがありました。 デメリットは、たまにインターネット接続が不安定になったり、部分的に先生や他の参加している学生さんの声が聞こえなくなったりすることがあることです。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。（200～300 字程度）	
フィリピンとの時差は1時間しかなく、特に支障を感じたことはありませんでした。 授業への臨み方としては、マンツーマン講師の方にたくさん質問してコミュニケーションをとることを心がけました。講師の方は明るくとても良い人で毎回授業は楽しく、苦に感じたことはなかったです。私から質問するとしっかりと答えてくれますし、私にも同じ質問とプラスでもいくつか質問してくれるので英語のアウトプットの良い機会になりました。 モチベーションアップとしては、友人と全て英語で1時間ほど会話するというのを週に2回行い、学んだ英語のアウトプットと英語を積極的に学ぶ姿勢のキープをしていました。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。（250～300 字程度）	
3週間のプログラムを通して英語でコミュニケーションをとることが以前よりも楽しいと感じるようになりました。私の課題は、話している時の文法が間違っていることが多いことなのでこの3週間を無駄にしないように文法などの基礎もしっかり持続させていきたいと感じました。 また将来は英語を使用する仕事に就きたいという以前から抱いていたビジョンが明確になりました。洋画を英語字幕で見たり海外の友人と交流したりして楽しみながら英語学習を続け、よりハイレベルな英語を身に付けたいです。	

国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学（オンライン）2024 年春季
オンラインプログラムを選択した理由、参加目的について記載してください。（100～200 字程度）	
大学1 年時春休みの短期語学研修および大学2 年時秋学期の交換留学を通じて獲得した英語能力の低下を感じ、英語力の回復および向上を目指し、短期語学研修に参加することとした。その中でも、マンツーマンレッスンや発音レクチャーに重点を置きプログラムを選択した。本オンラインプログラムを選択した理由としては、現地での短期語学研修に以前参加したことおよび就職活動が終了している確証がなかったためである。	
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。（200～300 字程度）	
本プログラムでは、発音・英会話・パブリックスピーキングについて学んだ。発音については、母音・子音一つ一つ学ぶことができ、当初は非常に苦労していた早口言葉も最後にはスラスラ言えるようになった。英会話では、普段扱うことができないテーマについての意見や考えを検討し発言することができたほか、フィリピン文化の理解促進および日本文化の再理解を行うことができたと感じている。パブリック・スピーキングは、グループレッスンにて学んだ観点であり、ペアでの発表および個人での発表を通して、公の場での英語での発表のコツを認識することができたと考える。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。（200～300 字程度）	
オンラインプログラムのメリットは、日本にいながらプログラムに参加できるため、ストレスがかからないことである。現地に赴くプログラムでは、慣れない土地で慣れない環境でのプログラムとなるほか、移動での疲労が影響するため、プログラム前半は本領が発揮できない場合があるだろう。加えて、費用をある程度抑えることができること・アルバイトなど日本での取り組みをストップする必要がないこともメリットである。デメリットとして、現地文化を体感するチャンスがないほか、授業が終了した夕方以降および土日は英語を使わないため、英語能力の向上に限界があることが挙げられる。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。（200～300 字程度）	
9 時～15 時（内ランチタイム1 時間）と短期集中で取り組むことができたこと・授業終了後に友人とのご飯など予定を入れることができたことはモチベーション維持・向上に繋がった。エンデラン大学と明治大学からの参加者を繋ぐ担当者があり、授業の改善点などの相談をその方に気軽に行うことができた点は良い点であったといえる。毎日のグループレッスンを通じ、明治大学から参加しているメンバーとの仲を深めることができたのも良かった。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。（250～300 字程度）	
プログラム参加前から、海外との接点のある仕事および学習を深めてきたが、プログラムを通じてさらにその思いが深まった。加えて、プログラム中の日本文化について説明をする機会を通じて、日本や日本文化についての理解を深めるとともに、英語で説明できる状態にしていきたいという思いを改めて感じる事ができた。英語能力という点以外においても、グローバルで活躍できるような人材になるため、今後は、英語学習はもちろん、幅広く学び自分自身の価値を他者に届けていきたいと考えている。	